

# 北っ子だより

2022. 5. 31.

令和4年度 5月号

学校教育目標

「心やさしく、頭かしく、体つよく

夢ふくらます 児童の育成」

相良村立相良北小学校

校長 吉本 仁

梅雨を前に川辺川の土砂除去工事が行われています。4月から2か月、たくさんの土砂は取り除かれました。水位が上がっても川幅いっぱいゆっくりと水が流れています。2年前のような大雨が降らないことを祈ります。

その水害で学校も被害を受け、多くの茶畑が被災し、昨年から4列で茶摘みをしています。今年も元気会の皆さんにお手伝いいただき、全校による茶摘み、中学年の総合的な学習の時間での釜炒り茶づくりができました。ご協力に感謝いたします。

子供たちの手摘みの後、校長・教頭の素人2人で機械摘みをしました。しかし、機械が重く慣れていなかったため、枝が多くなってしまいました。すぐに駆け付けて手伝ってくださった宮田さん・北川さんの指導のもと無事終了しました。お茶は、初神の本田さんよりいただいたものと一緒に、製茶を信國さんをお願いしました。

## お茶摘み 2022.5.2



## お茶の袋詰め 2022.5.6

朝からの依頼にもかかわらず駆け付けていただいた元気会の皆さんにお手伝いいただき、高学年が袋詰めをしました。今年赴任した阿部先生も子供たちと一緒に楽しそうに作業をしていました。シーラーが1台しかなかったため、きりゆうさんと教頭先生の仕事を引き継ぎ、校長室にこもりお茶の袋詰めを終わらせました。

袋に貼るシールを6年生がつくり、貼り付けが完了しましたので、個数に限りがありますが希望される方に販売予定です。売り上げは、来年度の経費として使います。



## プール掃除 2022.5.29

今年もたくさんの保護者に協力いただき、プール掃除が終わりました。最近の3年間でもっとも事前準備ができていたので、壁や床磨きと中心に作業ができたと思います。今年のプール開きは6月10日です。授業以外でも西門クラブで使います。今年までは難しいと思いますが、四浦に子供たちの歓声が響き渡る日が待ちどおしいです。



## 水俣に学ぶ肥後っ子教室・5年生 2022.5.20.

「水俣に学ぶ肥後っ子教室」は、子供たちが水俣病について正しく理解することを図り、将来にわたって差別や偏見を許さない心情や態度を育むとともに、身の回りや地球全体の環境や環境問題に対する関心を高め、環境保全や環境問題の解決に意欲的に関わろうとする態度や能力を育成することを目的としています。社会科で実際に公害を学習する小学校5年生の児童が、実際に水俣市を訪問し、水俣病資料館や環境センター等で公害被害から環境再生へと立ち上がる水俣の姿を学ぶため2011年度から始まりました。



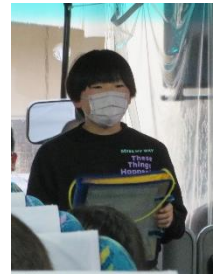
環境学習の様子



環境に配慮した製品を探し



語り部の緒方さんから  
こけしをいただきました



しおんさんが各バスごとにおこなった解散式で代表として「私は、今日の学習で水俣病の写真や映像を見て、当時の人の苦しさが感じられました。これからは二度とこのようなことがないように、環境学習で学んだゴミの分別など、自分にできることをして、キレイな海を守りたいと思います。」と発表しました。

### 「祈りのこけし」に込めた思い緒方正実さん

「祈りのこけし」は、ヘドロが埋め立てられた埋立地に育つ「実生の森」の木を切る許可を得て、自分の思いを託した作品です。水俣病で亡くなった人間や鳥や魚は、いったん失われた生命ですけれども、再び生まれ変わるといふ思いも込められています。緒方さんは顔のないこけしを作り、「祈りのこけし」と名前をつけて行政や国の担当者に手渡しています。こけしを渡しながら、自分のことも伝えていけば耳を傾けてくれるという意味もありました。

人を恨み、あるときは自分が苦しみ、そのなかでひとつひとつの問題が解決していったら、そのひとつひとつに対してゆるすことはできるということに気が付いたのです。水俣病という出来事と出会い、チツを恨み、行政を恨み、世の中を恨んでしまったけれども、恨みを取り除く方法だってある。人に正直に生きるのではなくて、自分自身に正直に生きるということです。水俣病になって良かったとは決して思いませんが、水俣病になったことを私は後悔していません。

「水俣病をみなさんの人生に少しでも役立てて教訓につなげたときに、思いの中で目や鼻や口が描かれていきます。みなさんの思いの中で完成させてください」(正実さん) 正実さんは、出会う人たちに顔のない「祈りのこけし」を手渡しています。

NHK福祉情報サイト「ハートネット」より引用

## 新体力テスト 2022.5.27.

走る、跳ぶ、投げる。24年前までは、運動能力・体力診断テスト(スポーツテスト)をしていましたが、1999年(平成11年)に大幅な改定があり、新体力テストとなりました。ジグザグドリブル、懸垂腕屈伸・斜懸垂、伏臥上体反らし、背筋力、走り幅跳び、垂直跳び、立位体前屈、踏み台昇降運動は、今は測定していません。

